日銀会合では「金利据え置き」の公算大



今回（29－30日）は据え置き、次の利上げは12月の公算

1.25％ 据え置き予想

- 12月に1.50%へ利上げが中心予想
- 1人（高田氏）が利上げ実施で反対票か
- 展望レポートは成長率を概ね維持
- 2027年度の物価は小幅上方修正の予想

注目は【基調物価「2%到達」】と判断するかどうか

2%到達 → 追加利上げ観測 → 円高・金利上昇

- 到達判断のみなら、相場反応は限定的な可能性
- 早期・連続利上げの示唆なら反応が強まりやすい

タカ派な発言がやや目立つか



追加利上げと物価上振れへの警戒が目立つ

10/21 氷見野副総裁 中立
基調物価は2%に近い
政策調整の遅れを警戒

10/16 植田総裁 中立
基調物価2%到達の判断は
10月会合で議論（G20後会見）

10/16 植田総裁 ※ 中立
追加利上げ方針を維持
物価上振れを重視（信用組合大会）

10/15 小枝審議委員 タカ派
利上げに過度な慎重さは不要
中立金利は1%より高い（熊本会見）

10/15 小枝審議委員 タカ派
物価上振れ・緩和的金融環境
適時の調整が必要（熊本講演）

10/6 植田総裁 中立
利上げの時期・ペースは
見通しやリスクを点検（証券大会）

9/18 植田総裁 中立
利上げ後も金融環境は緩和的
基調物価2%の安定を重視（会見）

9/10 増審議委員 タカ派
実質金利のマイナスを早く解消
さらなる利上げが必要（福井講演）

9/2 高田審議委員 タカ派
一定のペースにとらわれず
機動的に利上げする局面（札幌講演）

8/27 氷見野副総裁 中立
物価2%到達に加え
上振れリスクを重視（埼玉講演）

新しい順に左列、右列へ／2026年10月26日時点の整理
分類は当方の相対評価。中立も利上げ方針を維持 ／ ※内田副総裁が代読